



測定値が維持管理計画値を超過した理由(＊)

平成26年度 維持管理状況(2月1日～28日)＜工場設置計器の測定結果＞より

①ーア)目黒清掃工場 2号炉 2月13日(金) 13:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定計器で139ppmを記録した。

原因は、ごみ投入ホッパの閉塞解除後、直ちにごみ供給を行ったが焼却炉内において燃焼が不安定となり、一時的に不完全燃焼となったことによる。

直ちに、燃焼空気量及びごみ供給量の調整を行い燃焼改善を図った。

その結果、維持管理計画値以下の正常な燃焼状態に回復した。

①ーイ)目黒清掃工場 2号炉 2月24日(火) 2:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定計器で116ppmを記録した。

原因は、2号ごみクレーンの自動運転が不調となり手動運転にてごみ供給を行った際に、焼却炉内において燃焼が不安定となり、一時的に不完全燃焼となったことによる。

直ちに、燃焼空気量及びごみ供給量の調整を行い燃焼改善を図った。

その結果、維持管理計画値以下の正常な燃焼状態に回復した。